

教育行政の壁を崩そう！

不登校、学級崩壊、学力低下... 日本の教育は問題が山積しています。特に、公立の小中学校レベルでの問題は深刻です。この深刻な状況をなんとかしようとして、現場(=保護者、住民、学校、市町村)で様々な試みが見られています。しかし、こうした試みも、公立学校では必ずと言っていいほど、**教育行政の壁**にぶつかっています。予算や人事などを通した国のコントロールの壁です。

構想日本はこの壁をつき崩したいと考え、**提言**をまとめました。その目的は、現場の創意工夫が活き、子ども達が目を輝かして学べる環境を整えることです。柱は以下の3つです。

- 1) 市町村への権限の移譲
- 2) 学校運営の自由度の拡大
- 3) 保護者・住民の積極的な参加

政府の「骨太の方針」第4弾では、校長権限の強化、教育委員会制度の見直しなど、教育に関するものが多く盛り込まれました。構想日本の提言は、これらも含めた幅広い分野で具体的な改革案を示しています。この提言の記者発表を下記のとおり行います。ぜひご意見を伺いたく存じますので、ご参加ください。

記

日時 : 2004年6月9日(水) 15:30~
場所 : 文部科学省・記者クラブ
東京都千代田区丸の内2-5-1
Tel: 03 - 5253 - 1111 (代表)
発表者 : 加藤 秀樹 構想日本代表
ゲスト : 穂坂 邦夫 志木市長
他 教育関係者数名

提言の詳細については、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

< お問い合わせ先 >

構想日本 (担当) 西田/室田

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-11-2 渡辺ビル 3F

TEL: 03 - 5275 - 5607 FAX: 03 - 5275 - 5617

E-mail: info@kosonippon.org URL: <http://www.kosonippon.org>

構想日本は独立、非営利の政策シンクタンクです。「民」の立場で政策提言および、その実現のための活動を行っています。